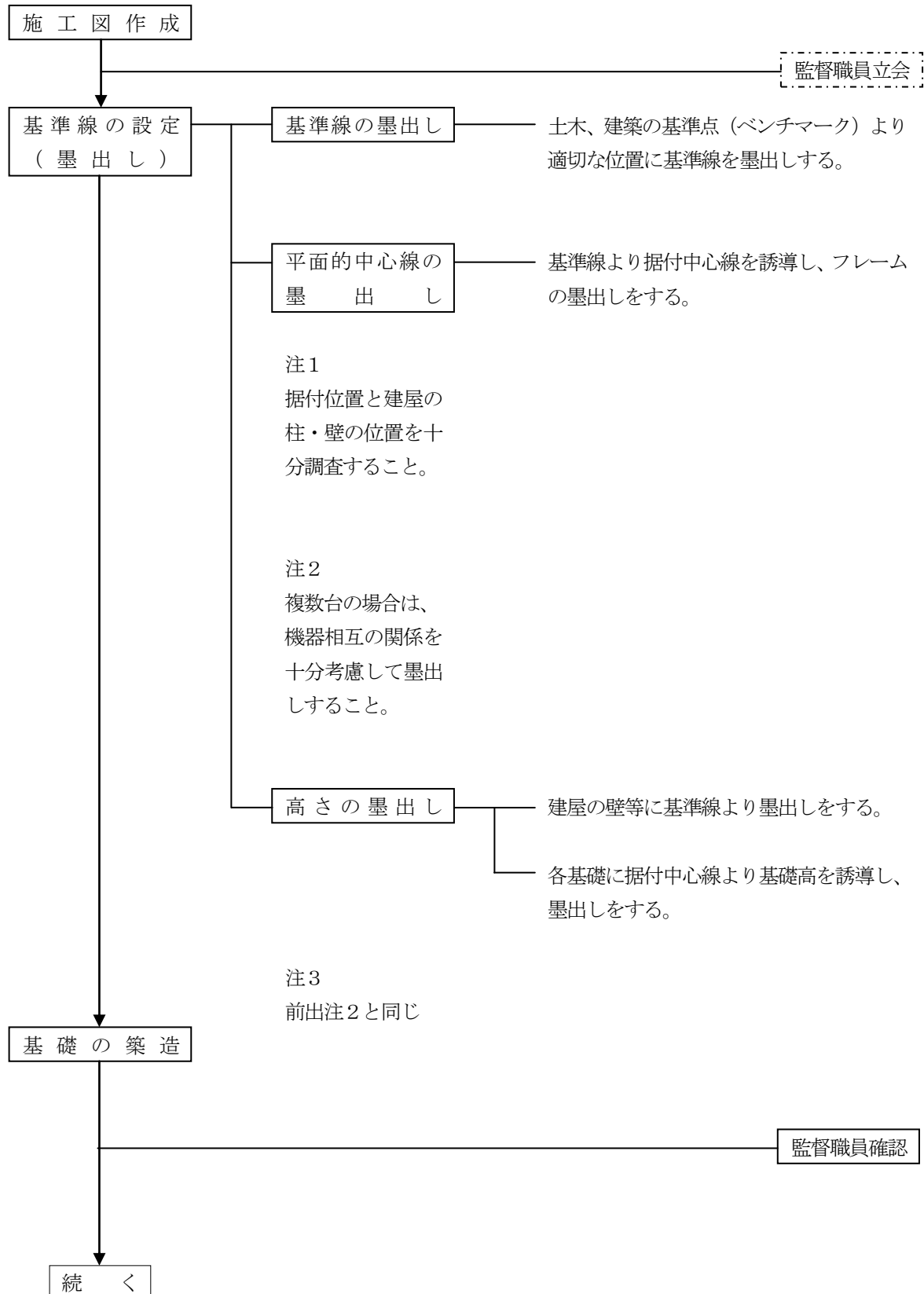


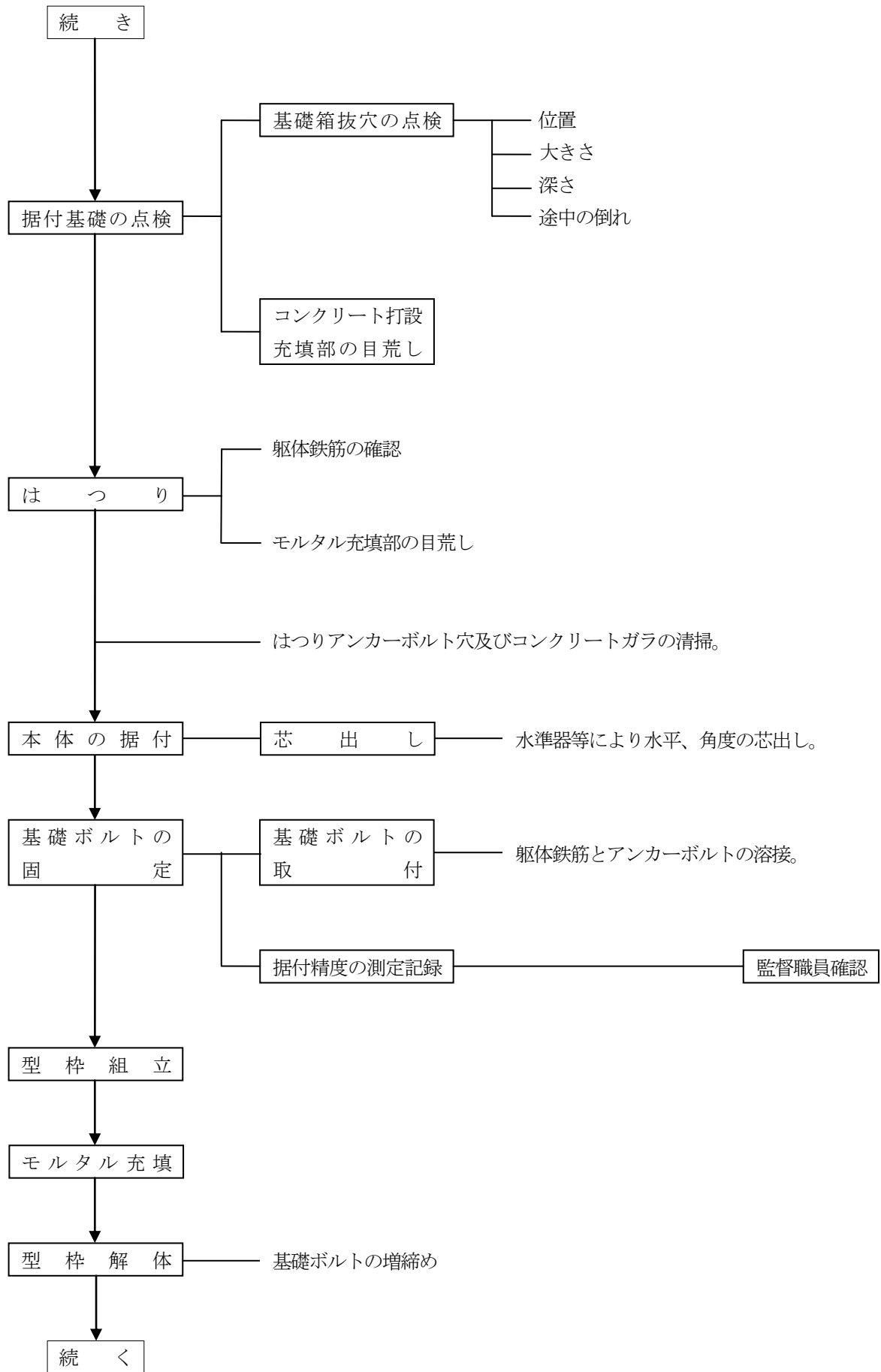
2. 3 除じん設備

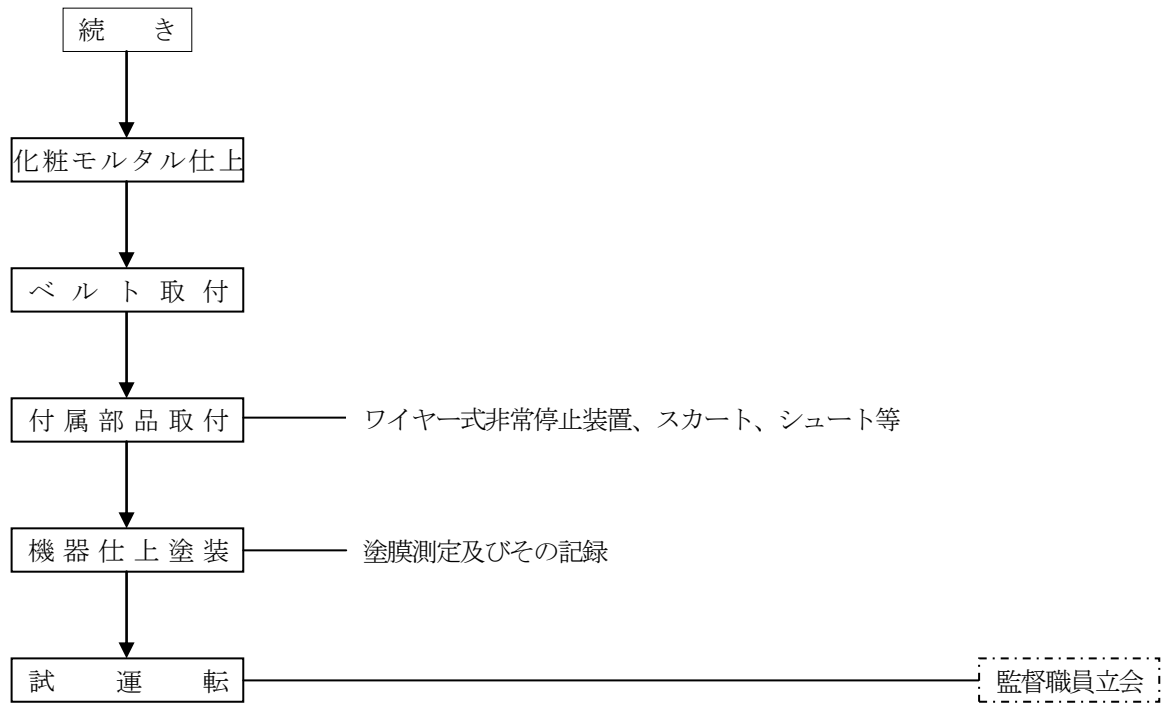
(2) ベルトコンベヤ

① 据付手順

(ア) ベルトコンベヤ据付フローチャート



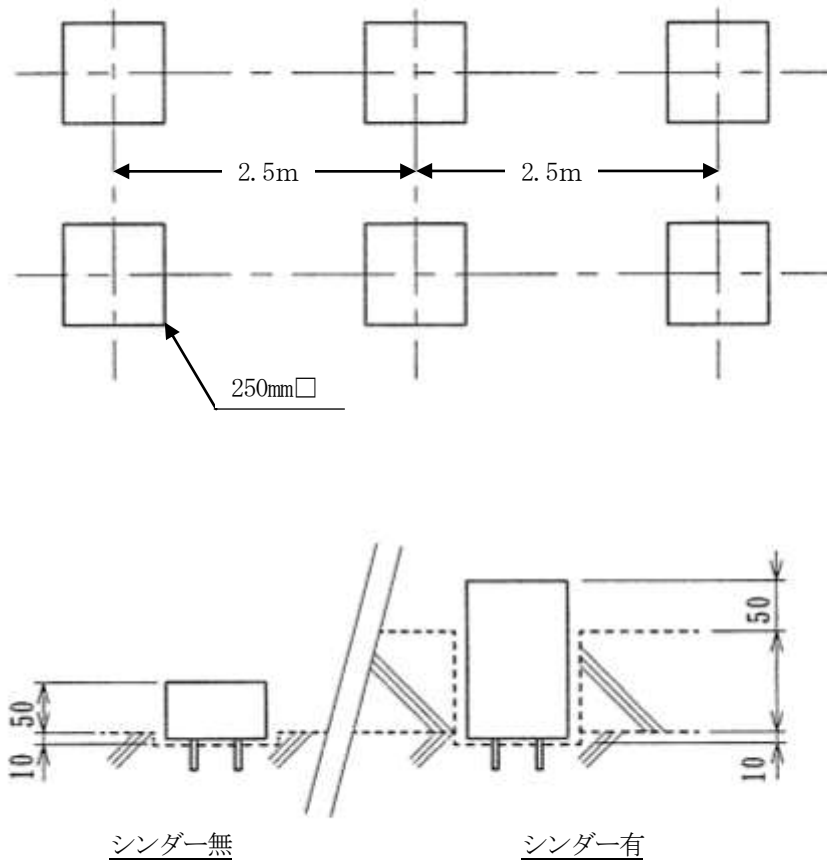




② 墨出し及び測定の要領

測定項目	測定要領	測定箇所図
<p>機器据付面のレベル確認</p>	<p>据付面の基準は、基準点（ベンチマーク）より誘導し、作業に便利な位置（ズラブ面又は、柱壁等）に副基準点を墨入れ、据付面レベルとの誤差を確認する。</p> <p>この場合、建屋の柱及び壁など建屋内の配置をチェックする。</p>	<p>The diagram illustrates the measurement setup for machine installation. It shows a vertical pillar labeled '柱' (pillar) and a horizontal line representing the '据付面レベル' (mounting surface level). Below this, a dashed line indicates the '据付基準線' (mounting reference line). Another dashed line further down represents the '関連機器基準線' (related machine reference line). Arrows point from the text labels to the corresponding lines in the diagram.</p>
<p>据付基準線に対する寸法確認</p>	<p>関連機器の基準線、又は構造物の基準線（柱、壁等）を基に、取り合い寸法を確認する。</p>	
<p>(注) (1) 複数台数ある場合には、相互の関連を充分考慮し、墨出しを行うこと。</p>		

③ 据付標準基礎図



機 長	5 m	10 m	15 m	20 m	25 m
基礎数	6 個	10 個	14 個	18 個	22 個

※ 最大で2.5mに2箇所（左右）設ける。

設計条件・仕様	特記事項 基礎は鉄筋コンクリート ($\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$) とする	施工注意事項 (注記)	図面名称	ベルトコンベヤ 据付標準基礎図
			図面番号	

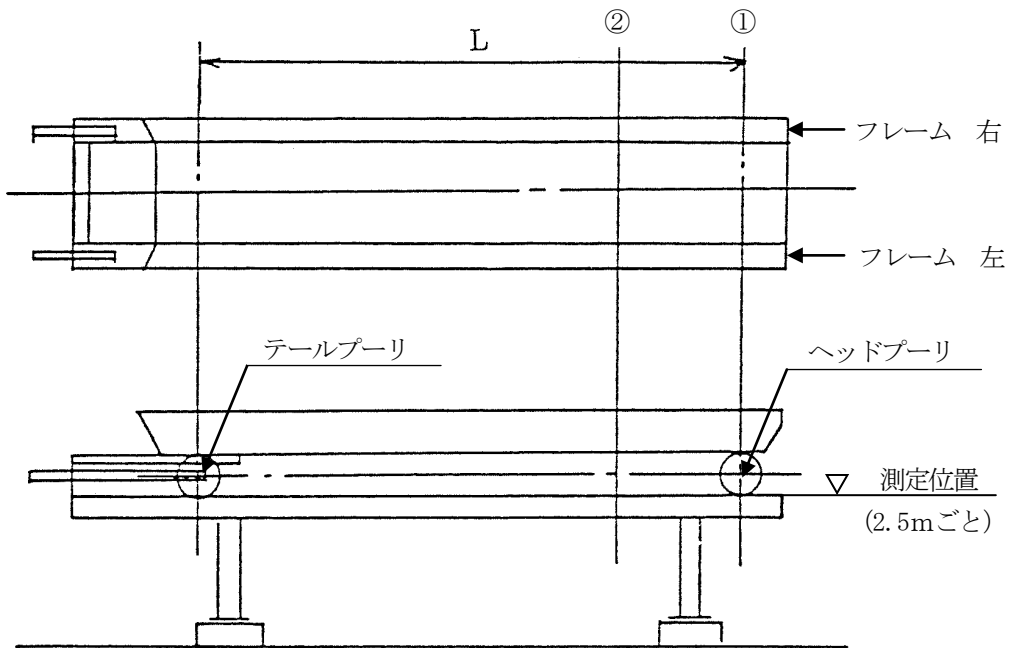
④ 試験・試運転

種別	試験内容	判定方法及び基準	記録事項	判定	摘要
運転準備	絶縁抵抗測定	動力及び制御回路の絶縁抵抗を測定し、0.2MΩ以上であること。	絶縁抵抗値		電気設備技術基準による。
	制御回路	制御回路のチェックを行い、各計器類が問題なく作動すること。			
運転確認	ワイヤー式非常停止装置	運転中、ワイヤーを手で動かした時、ベルトコンベヤが停止すること。			
	走行動作	作動はスムーズで、駆動装置、その他、回転部からの異常音及び異常振動の発生がないこと。			
性能確認	電圧	定格電圧の±10%以内であること。			
	運転作動電流	定格電流値以下であること。			
	速度	設計値に対する確認。			

⑤ 施工記録

ベルトコンベヤ測定表

工 名 称			
施 工 場 所		測 定 年 月 日	
機 名 称		測 定 者	
機 番 (No)		立 会 者	



測 定 項 目		許容値	測 定 箇 所							
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
フレーム左 右の高低差	右	mm 以下								
	左									
機 長	—		L=							

測定計器	
メーカー名	
形 式	
精 度	

ベルトコンベヤ

